

ソフト男子西日本L15日開幕

平林金属ク連覇狙う

リーグ屈指の打線に厚み

ソフトボール男子の西日本リーグは15日、尾道市の御調球場で開幕する。昨季優勝した平林金属ク(岡山市)は投打に戦力が充実。2年連続の日本一を見据え、初のリーグ連覇を狙う。

9チームによる西日本リーグは10月まで総当たり2回戦を実施。上位4チームが東日本リーグの

4強と覇を競う日本リーグ決勝トーナメント(11月・栃木)に進む。平林金属クは昨季、12勝4敗で3年ぶりに西日本を制すと、決勝トーナメントも勝ち上がり、2012年以来3度目の日本一に輝いた。

チームをけん引するのは日本代表の松田だ。昨季は西日本で首位打

日程	開催地	相手	対戦相手
4・15	尾道市	高知PW	ジェイテクト
4・16	〃	旭化成	ダイワアクト
4・17	〃	Neō長崎	〃
6・4	大阪市	愛媛ウエスト	大阪桃次郎
6・5	〃	オール福岡	〃
9・3	北九州市	ダイワアクト	ジェイテクト
9・4	〃	愛媛ウエスト	〃
10・22	高知市	高知PW	旭化成
10・23	〃	大阪桃次郎	Neō長崎

者(5割1分)、打点王者(20打点)を獲得。"本職"の投手でもリーグ2位の9勝、防御率1・31とフル回転した。調整も順調な29歳の黒柱は「いつも通りのプレーができれば結果はついてくる」と自信をのぞかせる。

野手陣では主砲小見山や日本代表組の木谷、平本ら実績のある中堅、ベテランが健在。パンチ力が持ち味の3年目の尾崎、4年目太田らも台頭し、リーグ屈指の強力打線は厚みを増した。「若手の突き上げが激しく、誰が出場しても遜色ない。選手のコンディションや相手に応じて打線を組み替える」と吉村監督

は話す。優勝争いのライバルは、昨季2敗を喫した高知パシフィックウエーブ(PW)、戦力補強で昨季7位からの巻き返しを

図る大阪桃次郎あたりとみられるが、他チームも侮れない。

15~17日の第1節で平林金属クは5試合を行い、開幕ゲームでいきな



2年連続の西日本リーグ制覇と日本一を狙う平林金属クのナイン。HIRAKINライズ球場

り高知PWと当たる。「強い気持ちで臨み、第1節は全て取りたい」と主将の小見山。栄冠への第一歩として好スタートを決める。(森川進豪)

2016年4月13日(水)の山陽新聞朝刊で記事が紹介されました
(山陽新聞社より許可を得て掲載しています)